

編集後記

2024年も残すところあと10日余りとなり、この1年を振り返りながら、新年1月号の編集後記を執筆しています。皆様にとって今年はどうのような年だったでしょうか。

年末を迎えるにあたり、今年の眼科領域における世界の3大ニュースと日本の3大ニュースは何かなと思ひ、ChatGPT-4oに英語でいろいろな問いかけをしました(情報ベースがやや古いということを加味しても)納得するような回答ではありませんでした。私の使い方の問題もあるかもしれませんが、専門領域でもより有用になるといいと感じました。

さて、今回の特集は「抗VEGF治療の進歩：選択と最適化」です。本特集では、新生血管型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈分枝閉塞症、近視性脈絡膜血管新生、未熟児網膜症について、抗VEGF治療戦略を中心に、最新情報を各分野の専門家の先生方にご解説いただいています。総説は「デジタル時代の手術教育」と「薬剤起因性網膜症」の2本を掲載し

ています。前者では、硝子体手術や白内障手術教育における3DシステムやVRシステムの活用についてわかりやすく解説いただき、指導する立場と指導を受ける立場の両者に向けたメッセージも込められています。後者では、抗てんかん薬、膠原病薬、抗がん剤など、主要な薬剤の後眼部への副作用について、実践的かつ簡潔にまとめられ、診察中にも参照できる内容となっています。機器・薬剤紹介として、ニデック社から2023年10月に発売されたスペクトラルドメイン光干渉断層計(SD-OCT)「Glauvas」を取り上げています。本項目では、その特長や臨床現場での活用について詳しくご紹介いただいています。

先生方におかれましては、本号を知識の整理とアップデートにお役立ていただければ幸いです。今年も多くの皆様に本誌をご購読いただきましたこと、心より感謝申し上げます。2025年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(根岸一乃・記)

編集：後藤 浩・飯田知弘・雑賀司珠也・門之園一明・石川 均・根岸一乃・福地健郎
編集顧問：小口芳久・臼井正彦・澤 充・谷原秀信・岸 章治・飯島裕幸・坪田一男・富田剛司

「眼 科」 第67巻 第1号 1月号

2025年1月5日発行(毎月1回5日発行)

定価 3,300 円(本体 3,000 円+税 10%)

年間講読料金

定価 48,950 円(本体 44,500 円+税 10%)

〔年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03 (3811) 7165 [編集室直通]

Tel 03 (3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03 (3813) 0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 横山印刷株式会社 Tel 03 (3622) 6161

広告申込先 (株)文京メディカル 03 (3817) 8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。